



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」  
“Action” 「アクション」  
「為せば、成る」 No challenge No fruits  
「未来はそれに備える人のものである」  
「入りたいな」と思われる楽しい会に

2019年5月号  
NO 512

そこで、王は答える。「はっきりしておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の1人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」  
マタイによる福音書25章40節

### ブリテンと他クラブ交流

神谷幸男

ブリテンとは「クラブ会報としての機関紙。毎月発行し、その月の例会プログラム・在籍者数・前月の例会出席者・出席率・BF成績・活動報告・活動計画・会員消息などを掲載する。」と“HANDBOOK”に記載されている。正に永久に保存すべきクラブの活動記録と言える。と同時に各クラブ間の情報交換ツールでもあるからブリテンを介して交流の輪が広がる。

ことさら新しいことではないが、ブリテンには例会の内容、日時、場所が記載されており、特に卓話の演題、卓話者等、興味深い記載があればそのクラブを訪問したくなる。

また、行事、CS活動、個人消息等の内容や、クラブあるいはメンバー個人の主義・主張・提案に対して賛意、意見、アドバイス、反論などをyscomに、あるいは個人的に表明すれば一層深い交流

につながって行くであろう。事実このような例はyscom上でも散見している。特に今まで交流のなかった人の書いた記事に意見を述べたことがきっかけとなって、その後区大会等でお目に掛かった時に一層の交流が深まることがあれば、これもワイズの楽しさの1つであろう。

最近ではDBCからは紙のブリテンを送ってもらっているが、ほとんどはyscomで他クラブのブリテンを拝見している。より多くのクラブがyscomに掲載していただけと有り難いと思う。

私自身はブリテンを拝見して他クラブの例会に参加させていただいた例は多くはないが経験している。しかし、ブリテン記事に対して賛意や意見を述べたい衝動に駆られたことはあるが、その機に及んで躊躇しているお粗末な次第ではある。



### WHOウォーキングのご案内

田園調布の魅力は、田園都市構想を育てた人の知恵と、天与の自然です。第230回は、多摩川段丘の水と緑と眺望を楽しみます。

期 日：2019年5月25日（土）

コース：東急東横線・田園調布駅  
—宝来公園—照善寺—多摩川台公園（宝来山古墳・山野草の道・古墳展示室・亀甲山古墳・水生植物園）—浅間神社—田園調布駅旧駅舎（写真）—田園調布駅

集 合：東急東横線・田園調布駅  
改札前9：45

解 散：同上14：30

携行品：弁当、飲料、敷物、名札

参加費：300円。名札代200円

### クラブ役員

会 長 本川 悦子  
副 会 長 高嶋美知子  
書 記 石井 元子  
会 計 河原崎和美  
担当主事 木川 拓

4月の記録		ニコニコ	9,500円
在籍者数 15人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	2,918円
出席者数 12人	コメント 0人	ファンド残高	156,000円
メーカーキャップ 0人	ビジター 8人	ホテル校ファンド	1,000円
出席率 86%	ゲスト 5人	ホテル校残高	89,769円
前月修正 —	出席者合計 26人	WHO参加者	42人

## 5 月例会のご案内

## 今月の強調テーマ：EF/JEF

今月はワイズダム発展のための基金造成の強調月間です。当クラブもワイズの基金造成のための協力を考えてみましょう。

例会には、先の次期会長研修会において披露され好評であった中国健身気功について実技を披露された日下部美幸さんをお招きし、永い紆余曲折を経て東洋の持つ古くて新しい生活の知恵にたどり着いたこと、その魅力についてお話しを伺います。

日時：5月16日(木) 18:45~21:00

会場：ウエルファーム杉並

(杉並区天沼 3-19-16 TEL3202-7330)

会費：1,500 円

担当：B 班 (神谷、石井、河原崎、木川)

## HAPPY BIRTHDAY

当クラブには該当者なし

司会 石井 元子  
受付 河原崎和美

開会点鐘 本川 会長  
ワイズソング 一 同  
聖書朗読・感謝 大野 貞次  
ゲストとビジター紹介 本川 会長  
会食

卓話 「気功がめざすものとは」  
峨眉気功研修員 健康運動指導士  
日下部美幸さん

ワイズ報告 会 長  
YMCA 報告 木川担当主事  
ニコニコ 一 同  
閉会点鐘 本川 会長

## —4月第2例会(事務会)—

日時：4月25日(木)

17:30~21:00

会場：YMCA 山手センター

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、小畑  
ホテル学校長、木川担当主事

<報告事項>

- ①4月のデータを確認した。
- ②4月の月次会計報告を承認した。
- ③欠席会員の近況を確認した。
- ④国際会長から、2020年にワイズ100周年を迎えるにあたり、新計画「チャレンジ22」がメール発信され、メンバーにコピーが配布された。1部不明な部分があり、会長から区に問い合わせ中。
- ⑤東日本区大会の実行委員会からの要請により、高嶋、鳥越、本川さんが受付を応援する。
- ⑥区のEMCアンケートに担当の吉田さんが回答した。
- ⑦新装なったYMCA山手センターB2に、クラブのロッカーが確保され、メンバーで確認した。4月25日から、使用する。

<協議事項・例会関係>

## ①5月例会

日時：5月16日(木)

18:15~21:00

会場：ウエルファーム杉並

卓話：日下部美幸さん(厚木クラブ)「気功がめざすものとは」

②6月の決算前に、本川会長を中心として、決算表の項目を見直す。

<協議事項・例会以外>

クラブ事業のYMCAホテル学校留学生支援も、約10年続いているが、見直しの時期との意見があり、第2例会前に、小畑校長、木川担当主事と、今後について話し合いを行った。

これからも支援を続行するが、留学生数が減り、経済的にも豊かになってきているので、支援金を留学生全員で配分する。(今年度は4人、来年度は2人)支援は金額ではなく、友好関係を作りたい。提案として、留学生にブリテンへの投稿をお願いする。

(書記・石井元子)

## 卓話者紹介

## 日下部美幸(くさかべ・みゆき)さん

名古屋出身、東京練馬育ち。4歳からバレエを習う。東京女子大卒。結婚でバレエはあきらめるが子育てしながら厚生労働省の健康運動指導士になる。平成10年(1998年)神奈川ゆめ国体の開会式、閉会式のマスゲーム(2千人)の指導兼責任者を3年間つとめる。

訳あって2日間の受講で受かってしまった気功の指導に20年以上悩みつづけながらも西洋医学と違った人間の英知に魅了され、物事のとらえ方にはまってしまい、同感してくれる方たちと不老長寿(仙人)の道を模索中。

厚木クラブ次期会長。

## 6月以降の新たな行事

- ▲5月19日(日)宇都宮クラブ創立40周年記念行事(前日からゴルフ大会などの催しがある)
- ▲6月16日(日)横浜鶴見クラブチャーターナイト



4月例会卓話は「コンビニの日米比較

## コンビニの日米比較 － 4月例会報告－

4月例会は、ゲスト5人、ビジター6人をお迎えし18日、開催されました。

卓話者の朝倉正昭さん(東京世田谷)は、セブンイレブンジャパン(SEJ)の元最高経営責任者です。破綻し、SEJの傘下となった米国SEの立て直しを行った。それは、日本における成功例を米国に持ち込み、浸透させることであった。

日米のSEの違いは、①店舗数の密度と規模の違い②フランチャイズ法制(融資7年間に15年間に延長)③供給者と小売店側の力関係④ニーズとウォンツの違い(ワイズにも当てはまる)⑤ファーストフードの相違、である。

SEJの哲学は、お客が欲しい物を欲しい時に、適当な価格で提供するという徹底した顧客志向である。コンビニは店舗面積が狭いから売れ筋商品を品揃えし、欠品がないよう、単品ごとの管理が欠かせない。これを行うには本部による一括配送が有利である。

米国は、国土が日本の約30倍ありながら、セブンイレブンの店舗数は、日本の半分。商品配送は、メーカーがそれぞれ行っていた。このことによるメーカーの店頭支配は、メーカーのエゴによる商品陳列が行われ、顧客のためにならない。

これを排し、本部による一括配送を行うためには、特定地域に集

中出店をして、配送の効率を高める必要があった。

また、ファーストフードの扱比率が、米国は、日本に比べて低い。大量生産できるサンドイッチ位しか開発せず、サンドイッチの専門店の出現により、競争に勝てなかった。

日本では、良質なファーストフードを効果的に提供できるように、協力工場で製造した食品が狭い地域での一括配送によって鮮度の高い状態で店頭並べられている。共働きの家庭や厳しい仕事を持つ若者たちにとって、必要不可欠の店舗となっている。

米国での改良点は、小売業は現地主義である。経営者には米国人を起用した。しかし意思の疎通は行い、従業員教育も徹底、商品開発も行った。

経営には「分析→仮説→実施→検証」が重要である。小手先ではなく、根本的な問題を徹底して議論して方針を決め、協力して取り組むことが大切である。これは、ワイズにも通ずることだと思う。

(鳥越成代・吉田明弘)

例会出席者(敬称略)：<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、神崎、篠原、高嶋、鳥越、村野、本川、吉田、木川、<ビジター>朝倉正昭(卓話者)、小原武雄、寺門文雄、松井直樹、村野繁(東京世田谷)、関喜一郎(石巻広域)、<ゲスト>恒石浩志、大河原好二、渡辺泰次、渡辺宣子、池谷泉、<メネット>神谷雅子



WHO : 安永4(1775)年創業の内木酒造を訪問

## サクラソウの自生地 WHO4月例会報告

4月のWHOウォーキングは、国の特別天然記念物、埼玉県田島ヶ原のサクラソウ自生地の開花に合わせて、期日を4月13日に変更しました。埼京線・中浦和駅に42人が集合しました、40人を超えたのは、昨年4月の目黒川・天王洲以来でした。

鴻沼川沿道は、サクラの薄いピンクと黄色い菜の花のコントラスト。鎮守の氷川神社を経て、埼玉最南端の酒蔵、内木酒造を見学。半纏姿の内木社長に迎えられ、説明を聞きました。安永4(1775)年の創業。すでに酒造りは終わり、杜氏も帰郷しているので工場見学はなく、建物を見学しました。秋ヶ瀬橋まで歩き、「サクラソウ自生地」へ。やはり数日早かったのでしょうか、広い低地には小さなピンクの花がちらほら。ノウルシの黄色い花に圧倒されています。隣接の桜草公園でシートを敷いて45分の昼食タイム。食後、かなり開花した群生も見られました。秋ヶ瀬橋をくぐり、秋ヶ瀬公園に入りました。

この橋から桜区役所のプラザ・ウエストまで、荒川土手と人手の入らない樹林の間の道を歩きました。鴨川を渡って、プラザ・ウエストに。バスで一路、中浦和駅に戻りました。ワイズ関係は、石井・吉田(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、関(石巻広域)でした。(吉田明弘)

## 熊本にし・熊本ネクサスクラブ 合同10周年記念例会・祝賀会

熊本にしクラブと熊本ネクサスクラブの記念例会・祝賀会は2019年4月27日(土) ANAクラウンプラザホテルニュースカイで開催されました。お祝に駆けつけた来賓・ビジター120人余、ホスト2クラブを加えて160人が参集して行われました。

第1部は記念例会。町田由美子会長の開会宣言・点鐘で始まり、熊本市長、熊本YMCA会長、西日本区理事の祝辞、5周年記念例会後の入会者の紹介、両クラブの10年の歩みの紹介をもって閉会。DBC熊本にしクラブの10年の歩みは充実した活動(熊本YMCA中央センター専門学校への支援、ペンタゴンDBC、台中エバークラブとのIBC締結、西日本区理事の輩出、西日本区大会のホスト、熊本五福クラブのスポンサーなど)に、また、この素晴らしい実績を成し遂げたメンバー・メネットのエネルギーに敬意を表する次第です。

第2部は藤井寛敏さん(元国際会長・東京江東クラブメンバー)による記念講演。演題「熱き心君に」。熱っぽく語り、正に彼の「熱き心」を我々に伝えてくれました。

第3部は祝賀会。メリーホッパーズ・バトントワリングショー。このショーには、東京勤務時代に我がクラブ例会にも出席されたことのある佐藤通彦さんのコメントひかりさんが出演していました。森田恵三ペンタゴンDBC代表の音頭で乾杯して会食・懇談。一段落したところでIBC・DBCの紹介、マジックショー。このショーに熊本にしクラブのメンバー宮田茂さんも出演、彼の師匠が主演するマジックショーでした。最後に今田美貴子実行委員長の謝辞、熊本ネクサスクラブ会長岩本守弘さんの閉会点鐘をもってお開きとなりました。大変盛り上

がりのある楽しい祝賀会でした。クラブから高嶋、神谷が参加しました。(神谷幸男)



参加クラブ紹介であいさつする高嶋美知子さん(中央) 左は熊本にしクラブ会長・町田由美子さん

## 川越クラブ20周年記念例会

川越クラブ20周年記念例会が、4月27日午後、川越東武ホテルで行われました。

記念例会は、森下千恵子会長の開会点鐘と挨拶で始まり、埼玉YMCA小谷総主事、アジア太平洋地域田中博之会長、東日本区宮内友弥理事から祝辞がありました。クラブから埼玉YMCAに対して記念品の贈呈が行われ、スライドによる20年間の回顧がなされました。

記念講演会は、東京国際大学名誉教授であるベリ・ドウエル氏の「川越いもの歴史と未来」について話されました。これは、同クラブが設立の3年目から今日まで懸命に続けているファンド事業、川越名産「きんとき・紅あか芋」の販売にちなんだものでした。

最初に、英語と日本語どちらで話しましょうか?とユーモアを交えて、流暢な日本語で講演が始まりました。アメリカ人がなぜ「お芋」の話をしたのですが、ドウエルさんは、留学生として川越に滞在してお芋に出会い、帰国して「日本のサツマイモはどのように伝来して普及したか」を修士論文のテーマにとりあげました。原産地中南米から中国、九州へ伝わりました。関東に来るまでに103年かかりました。突然変異によって発見された紅あか芋は品種改良ができないので、病気に弱

く、収穫が少ないため需要が減れば農家は作らなくなり、「幻の芋」となってしまうと結ばれました。

席を移しての懇親会では、スポンサークラブを代表して、創立に尽力された持田二郎さん(東京)、DBC北九州クラブの安藤邦昭さんからの祝辞もあり、おいしいお料理をいただき、楽しい時を過ごしました。クラブから吉田、本川が参加しました。(本川悦子)

## YMCA Today

○ホテル学校の新2年生は3月から就職戦線がスタート! 昨今のホテル開業ラッシュに伴い、求人数も増加。現在119人中、既に58人(49%)が内定。それぞれに合った就職先にたどり着けるよう、また社会人としていい形でスタートが切れるように、スタッフ一同しっかりサポートしていきます。

○4月11日、「第29回東京YMCAチャリティーゴルフ大会」を千葉県成田市のPGM総成ゴルフクラブで開催し、127人が参加しました。支援金516,000円はフレンドシップファンド(経済的困難を抱える家庭の子どもたち支援)や、障がい児及び不登校児支援活動のために用います。

○4月13日、「第23回高石ともやバングラデシュ奨学基金チャリティーコンサート」が日本基督教団浅草教会で開催され、約100人が来場しました。当日は松本数実氏(国際統括)から来場者に感謝が述べられ、バングラデシュ子ども教育支援について報告。東京YMCAが支援をしているバングラデシュYMCAの学校で学ぶ子どもたちの奨学金として、コンサート益金から150,000円をご寄付いただきました。

(担当主事・木川拓)

東京YMCAのHPでWHOの毎月予告と報告を写真入りで見ることが出来ます。



<http://tokyo.ymca.or.jp/community/2019/04/20190422-01.html>

☆☆ インタビュー ☆☆  
高田 一彦さんに聴く  
千葉クラブ

\* \* \*

高田一彦さん（千葉）は、第10代東日本区理事です。今は、千葉ウエストクラブ設立に奔走されています。



—私は、学生時代に高田さんの父上、高田彰牧師にお会いしていますよ。1959年、戦後日本で初めての国際大会、世界基督教教育大会でした。カッコ良い若手牧師でした。

「そうですか。当時、私は高校生だったかな。父は仕事のことは、一切家では話しませんでしたので、全く記憶はありません」

—牧師さんの家庭って、やっぱり違いますか。

「他の家庭を知りませんでした。うちの場合は結構厳しかったと思います。父権は絶対という感じで、父親は怖かったです」

—いわゆるハマッ子ですか。

「東京広尾の日赤産院で生まれ、父の関係で、茅ヶ崎、相模原から、学齢前に鎌倉へ引っ越し、大学に入るまで鎌倉育ちでした。横浜に住んだのは25歳からです」

—大人になったら、何になりたいと思っていましたか」

「幼児期から小学生の頃は親のように牧師になりたいと思っていましたが、高校3年の時に初恋に破れて、一切嫌になりました」

—クラブ活動などは。

「幼児の時に肺浸潤になったの

で、小学校の体育の時間はいつも見学でしたが、中学では体操部、高校では軟式テニス、大学では弓道部に入りました。いずれも大したものではありません」

—お仕事は。

「学校を出てからは外資のコンピューター会社に就職しました。社内業務の機械化部門で、社内業務のマニュアル作りや教育、日本法人へのセキュリティーシステムの導入、後半にはアウトソーシング事業の立ち上げにも関わり、実際に幾つかのお客様を訪問したりしました」

—YMCA とはどのような出会いでしたか。

「40歳になって、このまま企業戦士の生活でよいのかと自問自答していた時に、横浜 YMCA の西 brunch の近くに引っ越して、父親が鎌倉 YMCA の運営委員長をしていた関係で、西 brunch の運営委員になったのがきっかけでした。3年くらい経って、私が西 brunch の運営委員長になったので、鎌倉の実家には正月くらいしか帰らなかったのに、毎月1度の横浜 YMCA の常議員会で親子が対面するようになりました」

—1989年の横浜クラブ入会は、誰に誘われましたか。

「ワイズのことを知らず、誰も声をかけてはくれませんでした。その年の YMCA 国際協力募金の委員長として横浜クラブの例会に出席したのがワイズとの初めての出会いでした。48歳でした。声をかけてくれたのは故杉本恭之介さんあたりだったので。これは、定かではありません。その後、鎌倉クラブがチャーターした時に両親も鎌倉クラブのメンバーになったので、ワイズでは私の方が先輩です」

—太極拳は、中国仕込みですか。

「YMCA 教室で始め、その後、朝日カルチャー教室へ通い、10年で師範の資格を取得しました。流派は揚名時氣功太極拳で、先生

は、中国人でした。会社のコンベンションでタイへ行ったときに、早朝、華僑の人達が公園で太極拳をやっていたので、一緒にやったら、終ってから食事をしようと誘われたことがありました」

—ウクレレもやられますね。

「大学の時に寮の仲間とハワイアンをやっていたことがあり、横浜クラブに今村讚さんが入会され、パーティーなどで一緒に演奏していました。今でも、時々指の運動をしています」

—高田さんが区理事になられた時、「平和」を強調されましたね。

「横浜クラブは子クラブに沖縄那覇クラブがあり、部長訪問等でしばしば沖縄を訪問していたので、沖縄問題などをいつも意識していました」

—アジア地域会長をやられたり、横浜 YMCA の常議員議長をされたり、「ヨコハマのタカタ」として、知られているのに、千葉クラブに転会されたのは。

「ワイズのおかげで現在の妻と結婚し、彼女が母の介護のために横浜と船橋を車で行ったり来たりで、負担が大きかったので、千葉県船橋に転居、転会しました」

—今は、新クラブの設立ですね。

「船橋に移転して3年。私が所属した船橋教会にも YMCA の看板があるのに、細々としたデポという位置づけでの活動しかありません。教会員の中に、かつての船橋クラブの会員がいることに気づき、語らって船橋教会を起点にして、船橋 YMCA の復活とクラブ作りをしたいと思うようになりました。協議を重ね、クラブ名は、千葉ウエストクラブに落ち着きました。ぜひ全国の方の励ましをいただきたいと願っています」

—ぜひいろいろ発信してください。全国に、“西”クラブは5つあります。誕生を心待ちにしています。ありがとうございました。

(吉田明弘)

## 旅で出会った人 ⑧

村野絢子

## パキスタンからカシュガルへ

1999年、立教女学院の創立125周年記念のガッシュブルムⅡ自然観測隊に一員として参加した。インド・パキスタン間の紛争で、カラコルム地域も危ないとの情報が流れた直後で、モンゴル以来の友人親子と私以外は立教小学校校長田中司・ゑみ夫妻始め立教関係者計14人であった。

8月16日成田発北京経由でイスラマバードに到着。バスでカラコルムハイウェイを中国のカシュガルまで、唯一緑のある場所オアシスに泊まりながらの旅である。カラコルムハイウェイは中国の資金でパキスタン人が掘り（岩を割り、削り）進めて出来上がった。多くのパキスタン人が命を落としたこの道はインダス川に沿って高い山が迫り、危険な難工事であったことがよく分かる。ガイドのサラーによると5km以下の山には名前はないという。

彼は高校生の時、インダス川を泳いで渡り、英雄になり、イスラマバードの大学を出てトレッキングガイドとなった。標高6km近くまで行く事もある。

ガンダーラ遺跡を見ながらマラカン峠1700mを超えスワート泊。バスでインダス川を遡り、シャティワールを経てチラス泊。ギルギットを経て、フンザ泊。宿でイタリア人のグループは強風の危険で、歩いて山越えをしたと聞き、途中バスを止めサラーが様子を見に行きその後発車し、バスの屋根に小石が当たる中を走ったことを思い出しぞっとした。

フンザではジープでホッパー氷河・2つの古城を見学。フンザよりクンジュラブ峠(4700m)を超え中国ウイグル自治区タシュクルガン泊。バスでスパシ峠(4200m)を超えカラクリ湖の湖畔で乗馬やハイキングを楽しみ、ポプラの木に囲まれたウイグルの首都カシュガル・ホテル「色満賓館」(元領事館)に到着。本隊の報告を聞き、ウルムチ・北京経由で27日帰国。

迫力満点の旅であった。



## 出来ること、できないこと

吉田 明弘

最近、どうしたことか、高齢者のデイケアサービスの情報が入ってくる。隣り合わせに住んでいるAさんとBさんが、同じケアセンターに行っていない。食事や入浴、やりたいこと、施設の雰囲気などによって、自分に合った施設を選択ができるのだそう。だから、楽しいという人が多いし、家族も助かっていると聞く。

近所の尊敬している先輩が99歳になったのに行く資格がないという。どんな資格がないのかと聞いたら、介護度の認定がない、つまり、出来ないことがないからだという。それで、今まで通り、センターの草取り、自分よりも20歳も年下の有資格者の将棋の相手や話し相手のボランティアを続けているとのこと。それにしても、出来るから、資格がないというのも珍しい。

己を考えると、資格は、自分で

気づかないうちに努力しないで取得できそうだ。でも逆に、出来ることが、少ないことに改めて驚く。

子どもの頃から同じことを繰り返したり、覚えたりすることが嫌いだった。何か新しいことを試してみても、1回やって、ああ、そういうことなのかと判ると、それで興味がなくなり続かない。技能的なことはまったく進歩しない。従って、趣味がない。

生活上のことは、もともと苦手で、しかも機器の進歩によって以前は出来たが、今は手も足も出ないことが多い。でも、ケアの世界は出来なければ、有資格者だから問題はない。むしろデイケアセンターに行くと、「折り紙」や「ぬり絵」、「リズム遊び」などがあるという。これは、恐怖だ。出来なくて仲間に入れられないのも淋しい。デイケアセンターのための予備校などがあれば、入りたいと思っている。

## 編集後記

新緑が美しく映える季節となりました。バカみたいな10連休はいかがお過ごしになりましたでしょうか。十分楽しまれたと思います。私事ながら5月は一番好きな季節です。野山を駆け巡りたいと思っています(車で)。

いつもながら原稿を寄せてくださった方々に感謝します。

今月も発行が予定より遅れてしまって申し訳なく思います。

熊本にシクラブ10周年記念祝賀会に参加したついでに、クレーンと足場に囲まれた大掛かりな修復工事中の熊本城を見ることはこの機会を逃したら見る事が出来ないと思って遠目からながらチラッと見えました。

(SK)

